



ファームウェアの管理

この章の内容は、次のとおりです。

- Cisco IMC ファームウェア, 1 ページ
- ファームウェア コンポーネントの表示, 2 ページ
- ファームウェアの更新, 3 ページ
- ファームウェアのアクティブ化, 5 ページ

Cisco IMC ファームウェア

Web UI の單一ページから次のファームウェア コンポーネントを管理できます。

- アダプタ ファームウェア：アクティブなイメージとバックアップイメージで構成されている主要なオペレーティングファームウェアで、次のような異なるインターフェイスからインストールできます。
 - ホスト アップグレードユーティリティ (HUU)
 - Web UI : ローカルおよびリモートのプロトコル
 - PMCLI : リモートプロトコル
 - XML API : リモートプロトコル

ファームウェアイメージをローカルファイルシステムまたは TFTP サーバからアップロードできます。

- ブートローダ ファームウェア：ブートローダ ファームウェアは、Cisco IMC からインストールできません。このファームウェアは、Host Upgrade Utility を使用してインストールできます。

次の個々のコンポーネントのファームウェアを更新できます。

- BMC

- BIOS
- CMC
- SAS エクスパンダ
- アダプタ

ハードディスク ドライブ (HDD) のファームウェアは、上述のアダプタ ファームウェアと同じインターフェイスからインストールすることもできます。

ファームウェア コンポーネントの表示

手順

ステップ 1 [管理者 (Admin)] メニューの [ファームウェア管理 (Firmware Management)] をクリックします。

ステップ 2 [全般 (General)] タブの [ファームウェア管理 (Firmware Management)] 領域で、次の情報を確認します。

[名前 (Name)]	説明
[更新 (Update)] ボタン	ダイアログボックスが開き、ローカルマシンまたはリモートサーバで利用可能なファームウェアイメージファイルをインストールできます。
[アクティブ化 (Activate)] ボタン	ダイアログボックスが開き、サーバでアクティブにする使用可能なファームウェアバージョンを選択できます。 重要 ファームウェアまたは BIOS のアップデートが進行中の場合は、それらのタスクが完了するまで新しいファームウェアをアクティブにしないでください。
[コンポーネント (Component)] 列	ファームウェアを更新できる使用可能なコンポーネントのリスト。
[稼働バージョン (Running Version)] カラム	現在有効なコンポーネントのファームウェアバージョン。

[名前 (Name)]	説明
[バックアップバージョン (Backup Version)] カラム	<p>サーバにインストールされている別のファームウェアバージョン（存在する場合）。バックアップバージョンは現在動作していません。これをアクティブにするには、[アクティブ化 (Activate)] をクリックします。</p> <p>(注) 新しいファームウェアをインストールすると、既存のバックアップバージョンはすべて削除され、新しいファームウェアがバックアップバージョンになります。サーバで新しいバージョンを実行するには、新しいファームウェアを手動でアクティブにする必要があります。</p>
[ブートローダーのバージョン (Bootloader Version)] カラム	コンポーネントのブートローダーソフトウェアに関連付けられているブートローダバージョン。
[ステータス (Status)] カラム	このサーバのファームウェアのアクティブ化のステータス。
[進行状況 % (Progress in %)] カラム	操作の進行状況のパーセンテージ。

ファームウェアの更新

[ファームウェア管理 (Firmware Management)] 領域から選択したコンポーネントに応じて、ローカルディスクまたはリモートサーバからファームウェアパッケージをインストールできます。インストールを確認した後、BMCによってコンポーネントのバックアップメモリスロット内のファームウェアバージョンが選択したバージョンに置き換えられます。

手順

- ステップ1** [管理者 (Admin)] メニューの [ファームウェア管理 (Firmware Management)] をクリックします。
- ステップ2** [ファームウェア管理 (Firmware Management)] 領域で、[コンポーネント (Component)] カラムからコンポーネントを選択し、[更新 (Update)] をクリックします。[ファームウェアの更新 (Update Firmware)] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ3** ダイアログボックスで次の情報を確認します。

[名前 (Name)]	説明
[ブラウザ クライアントによるファームウェアのインストール (Install Firmware through Browser Client)] オプション ボタン	ファームウェア パッケージがローカル マシンに存在する場合は、このオプション ボタンをクリックします。
[リモート サーバによるファームウェアのインストール (Install Firmware through Remote Server)] オプション ボタン	ファームウェア パッケージがリモート サーバに存在する場合は、このオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 ブラウザ クライアントを介してファームウェアをインストールするには、[参照 (Browse)] をクリックし、インストールするファームウェア ファイルに移動します。

ステップ 5 ファイルを選択してから、[ファームウェアのインストール (Install Firmware)] をクリックします。

ステップ 6 リモート サーバを使用してファームウェアを更新するには、[ファームウェアのインストール元 (Install Firmware from)] ドロップダウンリストからリモート サーバのタイプを選択します。次のいずれかを選択できます。

- TFTP
- FTP
- SFTP
- SCP
- HTTP

ステップ 7 選択するリモート サーバのタイプに応じて、サーバの [IP/ホスト名 (IP/Hostname)] フィールドと [イメージパスとファイル名 (Image Path and Filename)] フィールドに詳細を入力します。

ファームウェアをインストールすると、新しいイメージが非アクティブなイメージと置き換わります。イメージのインストール後、イメージをアクティブ化ができます。

重要 サーバのタイプが FTP、SFTP、または SCP の場合は、ユーザ クレデンシャルを入力する必要があります。

ステップ 8 [ファームウェアのインストール (Install Firmware)] をクリックして、ダウンロードとインストールを開始します。

ファームウェアのアクティビ化

手順

-
- ステップ1** [管理者 (Admin)] メニューの [ファームウェア管理 (Firmware Management)] をクリックします。
- ステップ2** [ファームウェア管理 (Firmware Management)] 領域で、[コンポーネント (Component)] カラムからコンポーネントを選択し、[アクティビ化 (Activate)] をクリックします。
[ファームウェアの有効化 (Activate Firmware)] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ3** [ファームウェアのアクティビ化 (Activate Firmware)] ダイアログボックスで、アクティビ化にするファームウェアイメージ (オプションボタン) を選択します。このイメージが稼動バージョンになります。
- ステップ4** [ファームウェアの有効化 (Activate Firmware)] をクリックします。
選択したファームウェアイメージに応じて、アクティビ化のプロセスが開始されます。
- 重要** アクティベーションの進行中には、次のことは行わないでください。
- サーバのリセット、電源オフ、またはシャットダウン。
 - BMC のリブートまたはリセット
 - 他のファームウェアのアクティビ化。
 - テクニカルサポートまたは設定データのエクスポート。
-

